

「乳癌と診断された被検者の乳腺組織を対象とした GCP-006 試薬の臨床有用性の検討」に関する研究

1. 研究の対象

研究協力機関（医療法人うえお乳腺外科、医療法人湘和会湘南記念病院、昭和大学江東豊洲病院、JCHO 久留米総合病院）において、乳癌の手術を受け、事前に受託研究「乳癌と診断された被検者の乳腺組織を対象とした GCP-006 試薬の臨床有用性の検討」に参加することに同意された患者さんが対象です。

2. 研究目的・方法・期間

乳癌は女性が罹るがんの中で最も多く、日本では 2018 年度には 9 万 4 千人の方が新たに乳癌と診断されています。そしてその数は年々増加しています。

今回、この研究では乳癌の手術の一つである乳房温存療法について、手術中に、がん細胞がまだ残っているかどうかの判断が今以上に簡単に正確にできる方法を研究します。がん細胞と一緒にすると蛍光を出す試薬を利用し、今までよりも簡単に精度が高い診断ができるかどうかを研究します。

研究期間は学校長が承認してから令和 5 年（2023 年）1 月 31 日までを予定していません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

乳癌の患者さんから摘出された組織の染色画像データを利用します。診療情報は利用しません。

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

研究協力機関の病院において、研究用の ID 番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工します。作成時の情報はその病院において、厳重に管理されます。その後、研究用に提供されます。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

この研究に利用する画像データには防衛医科大学校病院の患者さんの分は含まれておりません。すべて研究協力機関であらかじめ説明を受け、同意された患者さんが対象です。ご自分の病気に関する質問は、直接同意された病院の担当の先生にご連絡ください。

研究についての照会先

資料 3

研究責任者：防衛医科大学校 病態病理学講座 津田 均

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話 04-2995-1211 (内線 2278) 対応時間：平日 9 時から 16 時